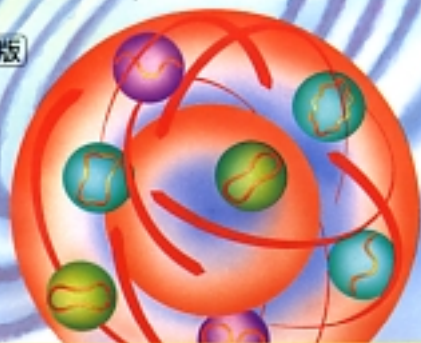


# 科学革命 意識の本体

山本貴美子 著 / 山本健造 監修

福来出版



**意識の起こす神秘の科学的根拠を探る。**

物質はヒモ理論で解決されても、意識の実体と重力の実体は未だ解決されていない。

意識と重力を開閉ヒモ理論で一挙に解決し、神通力発現の近道を示す。超能力者の書いた本。

目次

まえがき

一章 心霊現象のメカニズム一……………21

一 人間の死には幽霊現象が起きやすい……………21

1 田中正三氏臨終に親戚に現われる……………21

2 谷口茂八氏散歩に出る……………22

3 死に際に寺に参る玉……………23

4 臨終に我が子に会いに来た父……………25

5 牧野二郎氏の霊……………26

二 死後しばらくの間は幽霊現象が起きやすい……………28

1 死を知らせる為に戸が開いたり籠の蓋が飛ぶ……………28

① 不思議な現象と実地調査……………30

② これは死後の意識の実在証明となる……………31

③あとがき	32
②湖底より友を呼ぶ霊	32
③湖底の死者が縄を首に結んで浮く	33
④金沢の幽霊事件	33
⑤幽霊となって出る子供は誰か	34
⑥実家へ帰った幽霊	34
⑦お母さんの話	35
⑧お父さんの話	36
⑨妹さんの話	36
⑩お母さんの話	36
⑪多数の死者の霊が思いを一つにする時	37
⑫ダム工事幽霊事件	37
⑬白昼、娘の幽霊出る	38
⑭幽霊、墓前の供え物ものを食べる	39
⑮十余年後、再度深い精神統一による再調査	39
⑯精神統一による感得	40

2	生前積み重ねた意識の場が残る	41
3	薄い肉体を形成している	42
4	死後の意識はエネルギーを持つ	43
5	幽体離脱	44
6	三田氏の実験	45
7	死に際は幽体離脱である	48
8	目的をもつ死後、意識の活動	50
9	群衆の清らかな祈りと霊	53
10	修行に熟達した人と背後霊がドッキングする時	54
	アポーツ現象ひんぴんと起こる	55
	①物質の空化で家族が一つに纏まる	57
	小林洋介	57
	②私も体験した物質の空化	58
	中西まゆみ	58
	③あっ！また物質の空化！	59
	加茂野一夫	59
	④私はサイフを見ていた	63
	長内春美	63
	⑤毎日使っていたバッグから時計が	66
	栗原英子	66

## 二章

### 死後の霊と災難の因果関係

- 1 子孫に無実の罪つみを着せられ歎く先祖
- 2 北野家の不幸を探る
- 3 ①不幸の原因を先祖に転嫁する人々  
②先祖の霊は悲しみを訴える  
悪魔に仕立てられ悲しむ無縁仏
- 4 ①掘り出され疑われる墓石  
②加藤家の不幸な出来事  
③疑われて無念な霊  
御経で封じられた先祖の歎き
- 5 ①霊感師のいろいろな答え  
②テンカンの真原因は夫の浮気であった  
先祖の祟りと威され全財産を失う
- 6 ①独りぼっち残され泣く老婆  
②悲痛な先祖の声  
透視適中率98%の能力者が冒した過ち

## 7

① 不完全なる透視……………	79
二十年後の追跡調査の為精神統一……………	80
② 連想による幻覚……………	82
娘の胸痛と戦死者……………	82
もう一度原因を探す……………	83
二十年後深い精神統一による追跡調査……………	84
③ 世間を惑わす自称霊感師……………	85
④ 修行の落とし穴……………	86
⑤ されど災難と霊はごくごく稀に関係がある……………	87
思いがけぬ事故……………	87
爺の霊は語る……………	88
再度爺の霊に尋ねる……………	89
⑥ 怒み骨髄の一念が死と同時に……………	91
週刊誌のデッチあげ幽霊事件であった津幽霊事件……………	92
① 深い精神統一による再調査……………	94
② 精神統一による感得……………	94

三章

円滑現象えんかつげんしょう

③お詫びと訂正てんせい

1 バラバラになったサングラスが元にもどる

背後霊が関与して円滑に運ぶ

2 円滑現象を起こすメカニズム

立派な先祖が護ったと思われる

3 深く精神統一のできる人に御縁を結んで

①供養を依頼される

②霊的感得

4 有地家の墓に参る

①代参を依頼される

②有地家の先祖の思いを感得する

5 円滑現象そのからくり

①何となく電話したくなり助かる

②先祖は無念を子孫に伝える

95 96 96 98 100 101 104 104 104 105 105 105 105 106 109 109 111

四章

擬似心霊現象とその正体

一	霊の祟りにあらず―潜在意識の底から迷信を信じ切った為―	136
二	命拾いをした酋長	136
三	刃物より恐ろしい言葉―暗示―	138
四	胃痙攣と薬―時には薬物より効く暗示―	139
五	潜在意識がつくった地獄	140
6	円滑現象体験記	118
①	心霊体験	118
	六次元空の哲理	120
②	我が家の交通事故に於ける円滑現象 徳江邦裕	121
③	主人が交通事故をまぬがれ強い子に恵まれた 角田容子	127
④	大事にいたらず 小林幸子	129
⑤	走行中、車が故障したが運良く広い所に止まる 大場宏明	130
⑥	主人の右腕を治す 井上芳江	133
③	山本と友人であったから	114



9	霊動運動は単なる反射運動	149
8	太古外国人憑依催眠	147
7	鼠つき	146
6	前世溯源	146
5	龍神	145
4	犬神	145
3	狐憑	144
2	神乗り移り一そのほとんどが人格転換現象	144
1	先祖霊恐怖	143
五	心靈現象にあらずして心理学の催眠現象なり	143
5	赤鬼、青鬼に追おわれる婆ちゃん	142
4	自責の念に縛られた男	142
3	自責の念で腹を刺される	141
2	地獄の鬼にお尻を打たれる	140
1	地獄に行ってきた婆ちゃん	140

六	幻覚か？正確な霊視にあらず	150
六	有名霊能者（？）の偽霊視— 喘息の原因は喘息で、死んだ兄の霊の憑依という？	150
2	女流霊能者（？）の幻覚混合霊視—喘息の原因は水死者の霊という？	151
3	一貫性なき霊感師の解答	153
4	霊感師の指導で何故病が治ったか—それは暗示効果	154
5	天才でも誤る生身の悲しさ	155
七	余談	158
一	心霊現象には法則性がある	166
二	認識には自然の制約がある	167
三	密教の中に認識の四つの窓があった	167
四	ハイゼンベルクの不確定性原理はリグ・ヴェーダの中にあり	168
五	現代物理学の二重性と六次元認識論	168
六	光子は意識を持っている？	169
	<b>五章 理論物理学と心霊現象の接点</b>	166

七	宇宙の真実は四制約の止揚で直観する	172
八	物質は波動的性質をもつ	173
九	宇宙創成の源初は認識制約の彼方にある	174
結	論	175
十	時空間超越の念写	176
十一	意識場は光速を超える	178
十二	心霊現象のメカニズムの意識場	180
十三	究極素粒子と意識場は同質である	181
十四	全体、部分、重力は同時	183
十五	聖者の悟り	184
十六	神通体験のある者は六次元弁証法を悟る	185
十七	生命の円環	186
六章	近年の日本が生んだ人類史上稀代の霊能者	188
	高橋宥明上人	188
一	宥明上人を訪ねて	188

二

既に亡き天才霊能者！今なお超物理的現象で迎う……………188

高橋宥明上人神変記……………190

発端……………190

神変その一 意中を知る……………192

神変その二 投筆……………193

不思議な力を得た因縁……………195

神変その三 灰神楽を止める……………196

神変その四 人の体に墨をつける……………198

神変その五 遠方のことを知る……………199

神変その六 見知らぬ人の病を知る……………200

神変その七 蛙を逃がす……………200

神変その八 烏の犯した罪を知って霊縛する……………201

神変その九 たちまち隠投する……………202

神変その十 雨にも濡れない……………203

神変その十一 豪雨を止める……………204

神変その十二	風の向きを変える……………	205
神変その十三	不思議な悪戯あれこれ……………	206
神変その十四	遠方の物品を引き寄せる……………	207
神変その十五	飛行自在……………	208
神変その十六	飛行その二……………	210
神変その十七	飛行その三……………	211
神変その十八	戸を開けないで出入りする……………	212
神変その十九	同席していても見えない……………	214
神変その二十	開眼供養の不思議……………	216
神変その二十一	悪人の家では字が乗らない……………	217
神変その二十二	罪深き人のためには書いた字も消える……………	219
神変その二十三	遠距離に在って一掬の水で火災を免れさせる……………	220
神変その二十四	数珠でいっさいを判断する……………	221
神変その二十五	人を引き寄せる……………	222
神変その二十六	水面を陸上のように歩く……………	222

神変その二十七	話に従ってよその土地を幻出させる	223
神変その二十八	思いに従って神仏を拜む	224
神変その二十九	絵に描いた鳥が鳴く	225
神変その三十	人の布団を鉄板のようにする	226
神変その三十一	火の浄不浄を知る	227
神変その三十二	大師の奇蹟を予言する	227
宥明上人の事ども		228
木原裸院師の上人故地探訪記		233
投筆について		235
御宝が来る紐について		237
仙縁について		239
風貌について		243
河水一掬について		244
水について大橋氏からこんな実験を聞きました		245
福島三春より山形県上村郡千歳村役場まで空中を飛ぶ		246

長寿庵在任の消息	247
夫婦喧嘩の仲裁	248
足蹴にせられる	250
神授品について	250
石を投げて堤防を破壊する	252
他の法力を縛する	252
法術の競技	253
高野山に登り霊界に到る	255
隠身	257
開眼	257
橋大黒の開眼	258
熱湯の風呂に入る	259
食い尽くした膳部がそのまま残る	260
書かれた投筆へ棒引	260
炭火消ゆ	261

偉大なる捨身	261
雨かからず	262
施法	262
金を引き寄せる	263
病を治す	264
天才霊能者の遺蹟「仙縁石」を探して	267
宥明上人の靈に感応	271
宥明上人生誕の地を訪ねて	273
宥明上人直系の人びと	275
目のあたりに超物理現象「投筆」を拝見する	277
大講義長南年恵刀自	280
一 ネットレスに現われた超物理現象と今は亡き超人の感応	280
二 偉大なる靈力に引かれて長南様の書へ	284
三 背後靈のインスピレーション	287
四 長南年恵様の靈と感応	288



五 長南チウナン年ニエン惠シエ伝デン……………289

1 稀代キダイの大ダイ靈レイ媒バイ……………289

2 虚空コクウから樂ガクの音オンが……………292

3 入神ニウシン状態ジヤウタイで絵エや書カキを描エガく……………295

4 種々シユシユの難病ナンビョウを治ナゲす……………297

5 南岳ナンガク寺ジの淡島アワシマ大明神ダイメイジン……………298

6 かわせみがお札マタタビふだフダをくわえて……………399

7 年トシ惠シエ刀タウ自葬ジサウ式シキ……………301

8 高野タカノ寿鶴シユク龜カメ遺稿イコウ……………302

9 鶴岡ツルガ監獄カンギクと神戸カヌヘ裁判所サイバシロでの奇蹟キセキ……………304

真マコトの即心ソクシン成ニホフ仏ブツとは？……………307